

ま え が き

「練馬区統計書 平成15年版(2003年版)」をここに刊行いたします。

今日、日本の経済成長を支えてきた社会構造の変革が迫られています。

経済社会のグローバル化、I T（情報通信技術）の浸透および社会基盤の整備などにより、人びとの生活は豊かに、そして便利になりました。一方、生活様式や生活観・価値観が個別化する中、少子高齢化による人口構造の変化、女性の社会進出、環境問題、行政とN P O（民間非営利団体）の連携など、区民と区政を取り巻く新たな課題も生まれています。「練馬区統計書」は、それらの変化を図表と数値で表し続けてきたものです。

本書は、人口・産業・社会・教育などの各分野にわたり、総合的かつ基本的な統計資料を収録しています。区民の皆様の生活、学習および事業活動などのための身近な統計資料として幅広くご活用していただければ幸いです。

編集にあたりましては、できる限り最新の資料をとりいれるとともに、資料をわかりやすい形式に工夫するなど、内容の充実に努めましたが、今後とも皆様のご意見をいただきながら、より一層、利用しやすい「統計書」となるよう改善していきたいと考えております。

本書の刊行にあたり、貴重な資料を快くご提供ならびにご協力いただきました関係各位のご厚意に、厚く御礼申し上げます。

平成16年1月

練馬区長 志村 豊志郎

凡 例

1 この統計書は、特別の表示がないかぎり練馬区を範囲とし、人口・産業・社会および教育などの各分野における重要かつ基本的な統計資料を総合的に集録した。

なお、統計表には、ほかの区域と区別する必要がないかぎり「練馬区」の名称を省略した。

2 この統計書は、平成15年または平成14年度の統計資料を基準に集録し、あわせて以前のものも比較対照のため掲載した。

3 統計表の基準時点・期間は、つぎによる。

「年次」…………… 暦年間(1月～12月)

「年度」…………… 会計年度間(4月～翌年3月)

「年月日」…………… 記載期日現在

4 統計表中の符号の用法は、つぎによる。

「—」…………… 皆無、または該当数値なし

「…」…………… 資料なし(不詳)

「0」…………… 単位未満で四捨五入数値が0になったもの

「X」…………… 該当数値の公表をさし控えたもの

「△」…………… 数値が減少しているもの

なお、「イタリック体数字」は秘匿された数値(x)を含む。

5 統計表中の数値の単位未満は、四捨五入することを原則とした。したがって、合計と内訳が一致しない場合もある。

6 統計資料の出所は、統計表下部に資料作成機関、「」内に資料出典物名を表示した。

なお、練馬区の各部課において作成した場合には、「練馬区」の名称を省略した。

照会先
東京都練馬区豊玉北六丁目12番1号
練馬区総務部総務課統計係
電話：03(3993)1111(代表)